

- Harijono and S. Kato, 1994b : Radiosonde observations of equatorial atmosphere dynamics over Indonesia, Part II : Characteristic of gravity waves, J. Geophys. Res., **99**, 10507-10516.
- Tsuda, T., S. Fukao, M. Yamamoto, T. Nakamura, M. D. Yamanaka, T. Adachi, H. Hashiguchi, N. Fujioka, M. Tsutsumi, S. Kato, S. W. B. Harijono, T. Sribimawati, B. P. Sitorus, R. B. Yahya, M. Karmini, F. Renggono, B. L. Parapat, W. Djonegoro, P. Mardio, N. Adikusumah, H. T. Endi and H. Wiryosumarto, 1995 : A preliminary report on observations of equatorial atmosphere dynamics in Indonesia with radars and radiosondes, J. Meteor. Soc. Japan, **73**, in press.
- Tsutsumi, M., T. Tsuda, T. Nakamura and S. Fukao, 1995 : Wind velocity and temperature fluctuations due to a two-day wave observed with radio meteor echoes, J. Geophys. Res., submitted.
- 山中大, 1988 : ポンティアナ訪問記 (その2), 天気, **35**, 687-688.
- 山中大, 中村卓司, 1989 : バダグン・ブキティンギ訪問記, 天気, **36**, 650-652.
- 山中大, 山本 衛, 廣田 勇, 福西 浩, 近藤 豊, 田中 浩, 1990 : ブキティンギ訪問記(その2), 天気, **37**, 308-310.
- 山中大, 村上勝人, 荻野和彦, 新田 勲, 小川忠彦, 1994 : 「インドネシア地域における赤道大気観測に関する第4回国際シンポジウム」の報告, 天気, **41**, 47-53.



教授公募

1. 公募対象 東京学芸大学教育学部 教授1名
2. 年齢 50歳以上60歳未満
(平成8年4月1日現在)
3. 専攻分野 大気科学
4. 担当科目 学部および修士課程における気象学, 大気環境論, および関連科目
5. 応募資格 博士の学位を有すること
6. 応募書類 (1)履歴書(写真貼付), 連絡先明記のこと
(2)研究業績リストおよび論文別刷
(3)いままでの研究の概要と, これからの研究計画(大気科学の教育に関する研究の構想を含み, 2000字程度)
7. 応募期限 平成7年9月末日
8. 採用予定時期 平成8年4月1日
9. 応募書類提出先 〒184 東京都小金井市貫井北町4-1-1
東京学芸大学第3部地学科
学科主任 佐藤 文男
10. 問い合わせ先 学科主任 佐藤 文男
Tel 0423-25-2111 内線2677
または, 教授 島貫 陸
Tel 0423-25-2111 内線2679
11. その他 (1)応募書類は, 封筒の表に「教官応募書類在中」と朱書きし, 簡易書留で送付して下さい。
(2)応募書類の返送先を明記した封筒を, 必要額の切手貼付の上同封して下さい。

学会費等の郵便貯金口座からの自動引き落とし を取り扱うことについてのご案内

日本気象学会 事務局

当学会では毎年12月初めに翌年の会費及び当年の気象研究ノート、予稿集の定期講読代金を請求しておりますが、これまでこれらの払い込みについては郵便払込通知票による払い込み又は銀行口座及びクレジットカードによる自動引き落としをそれぞれご利用いただいておりますが、このほど郵便貯金口座からの自動引き落としも取り扱うことにいたしましたのでご希望の方はお申し出下されば手続書類をお送りします。ご連絡は1995年9月14日まで、郵便、電話、FAXのいずれでも結構です。

なお、これまで既に銀行口座あるいはクレジットカードからの引き落としをご利用されている方で今回の郵便貯金口座からの引き落としに「変更」を希望される場合も変更に応じますのでその旨お申し出ください。

(担当) 松野、島津

TEL 03-3212-8341

内線 2546又は2547

FAX 03-3216-4401



教官公募

1. 公募対象：東京工業大学理学部 地球・惑星科学科 地球・惑星内部構造講座：助教授 1名
2. 専門分野：広い意味での惑星科学の分野にあつて、新しい研究を切り開き、また研究グループのリーダーと力強い指導力を発揮できる方を希望します。着任後は本学科の教官として有機的なつながりを持って、地球惑星科学の研究を推進できる方を望みます。
3. 着任時期：平成8年3月までの可能な限り早い時期
4. 応募書類：
 - ・履歴書
 - ・業績目録(査読雑誌掲載「論文」とそれ以外の「総説等」に分けてください)
- ・主要論文(5篇以内)の別刷(あるいはそのコピー)
- ・今後の研究計画、抱負など
- ・応募者に関する所見をうかがうことのできる方1ないし2名の氏名及び連絡先
5. 応募書類の締切：平成7年7月31日(月)必着
6. 応募書類送付先ならびに問い合わせ先：

〒152 東京都目黒区大岡山2-12-1
東京工業大学理学部 地球・惑星科学科
学科長 高橋栄一
Tel 03-5734-2338
Fax 03-3727-4662

応募書類の封筒には「助教授応募」などと朱書して下さい。



シンポジウム 「北極域の雪氷と大気」のお知らせ

極域研究連絡会

趣旨: ソ連邦の崩壊に伴い、近年、北極海やシベリア等へ比較的自由に観測調査が行えるようになり、日本でも北極域に関する調査研究が大学や研究機関で活発に取り組みられてきています。また、北大西洋の10年スケールの変動は大気-海洋-海水システムの変動によるものではないかとの考えも提示されています。身近な所では、ユーラシア大陸の春の積雪と日本の夏の天候についての議論もあります。

そこで、1995年秋季気象学会（大阪）に合わせて、「北極域の雪氷と大気」と題するシンポジウムを開催したいと思いますので、北極域での大気、雪氷（氷床、凍土も含む）、海水及びそれらの相互作用に関する観測、データ解析、モデリング等の研究成果をお持ちの方、奮ってご応募下さい。ここで北極域とは北極海のみでなく、ユーラシア・グリーンランド・カナダ等周辺領域まで含めます。レヴューや研究計画に関する講演も歓迎いたします。学会とは異なり、1件20分程度の発表時間を確保する予定です。学会の発表と重

複しても結構です。

日時: 1995年10月19日（木）9:00~13:00（予定）

場所: 大阪市中央区大手前4-1-76

合同庁舎4号館（大阪管区気象台のあるビル）

講堂（4階）

地下鉄谷町線または中央線、谷町4丁目下車すぐ

申込先: 札幌市北区北10条西5丁目

北海道大学大学院地球環境科学研究科

山崎 孝治 TEL: 011-706-2361

FAX: 011-726-6234

締切り: 8月23日（水）学会予稿集の締切りと同日。

A4で1~4枚程度の予稿を添付願います。

事務局: 和田 誠（国立極地研究所）

TEL: 03-3962-5580

小西啓之（大阪教育大学）

TEL: 0729-76-3211（内）3121

編集後記: 春の気象学会も盛会の内に終わった。4つの会場すべてがほぼ満席の状態、303件にもものぼる発表があった。このような立派な大会を企画・準備し実行された、講演企画委員会、大会実行委員会、学会事務局他のご努力には頭の下がる思いである。

さて、既に多くの読者の方はお気づきと思うが、本年1月より本誌に新たに「情報の広場」欄が新設された。会員から寄せられた、気象学の研究や調査などに有益な諸分野の情報や話題を掲載する。早速いくつかの興味深い情報も提供されているが、会員の皆様からもどしどし情報をご提供いただき、毎月1回の散歩が待ち遠しくなるような広場の運営にご協力をお願いしたい。

4月号の「情報の広場」欄には、東大生産研の沖さんが気象予報士試験合格者と日本気象学会の関係に関

する興味深い調査結果を掲載して下さっている。沖さんは、単に情報の提供にとどまらず、学会の将来像を真剣に考えていく必要性を指摘されている。4月号が届いてまもなく春季大会が始まり、シンポジウムと学会賞・藤原賞受賞者の方々の講演に挟まれてあわただしく執り行われる総会に出席してみて、講演発表と同様、実質的な議論を行うための時間不足を感じた。本誌の編集委員としては、このような時間不足の問題をも含めて、学会の将来のあり方について、幅広いスペクトルを持つ会員の方々に議論していただく場として、本誌の「会員の広場」欄をもっと積極的に利用していただければと思うのである。残念なこと、「会員の広場」欄で学会の運営に関する話題が議論されたことは、93年9月号以来無い。（新野 宏）